

# 今後求められる取組みについて

---

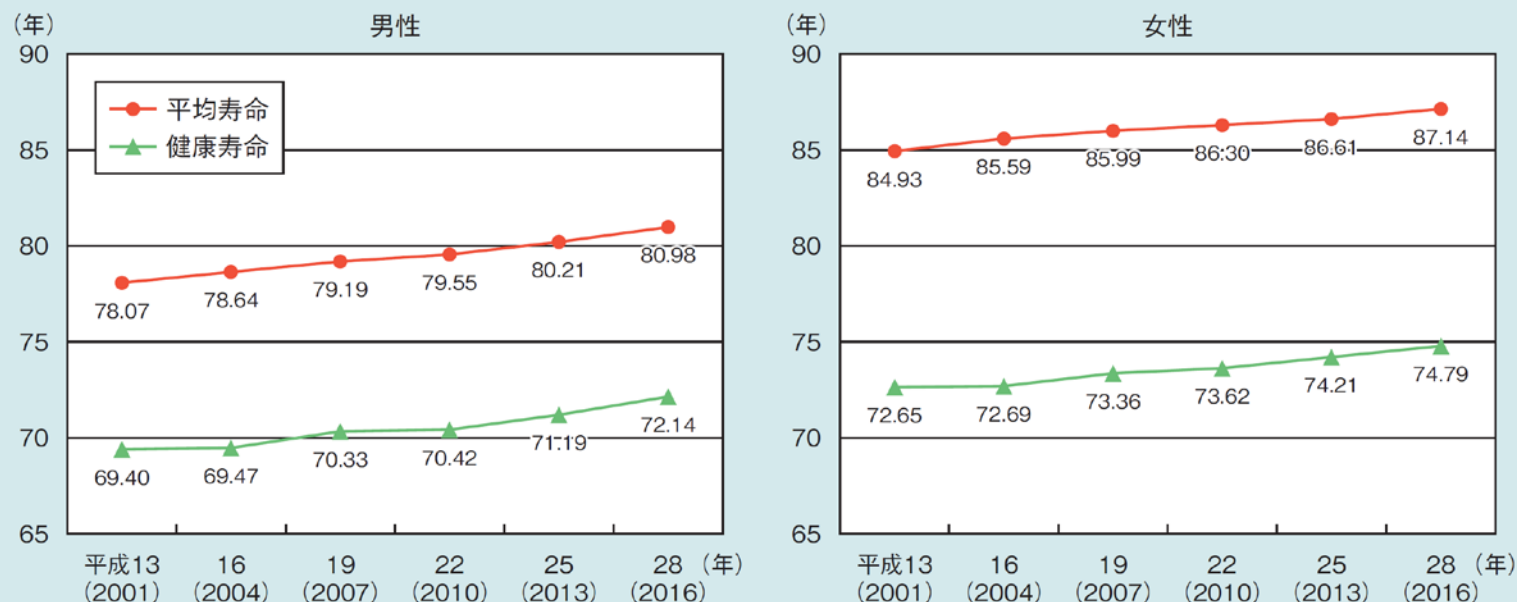
令和3年度第1回松戸市高齢者保健福祉推進会議資料



# 議題1 高齢者にどのような支援が求められているか①

平成12年の介護保険制度の導入から約20年が経過し高齢者を取り巻く環境は様々な変化してきました。本市の高齢化率は令和3年度当初で25.8%であり、今後高齢化率は増加の一途を辿ることが見込まれています。これから行政にはどのような取り組みや支援が求められているのでしょうか。

図1-2-2 健康寿命と平均寿命の推移

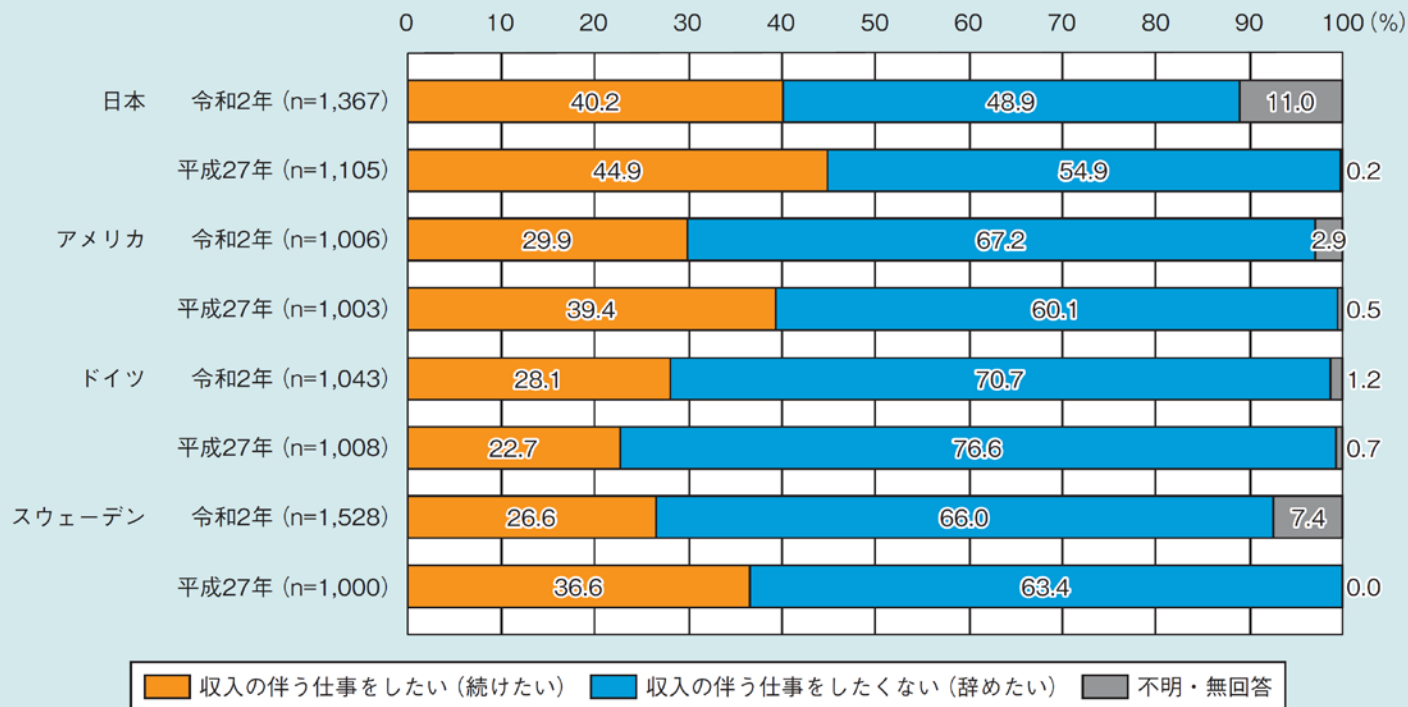


資料：平均寿命：平成13・16・19・25・28年は、厚生労働省「簡易生命表」、平成22年は「完全生命表」  
健康寿命：厚生労働省「第11回健康日本21（第二次）推進専門委員会資料」

# 議題1 高齢者にどのような支援が求められているか②

平成12年の介護保険制度の導入から約20年が経過し高齢者を取り巻く環境は様々な変化してきました。本市の高齢化率は令和3年度当初で25.8%であり、今後高齢化率は増加の一途を辿ることが見込まれています。これから行政にはどのような取り組みや支援が求められているでしょうか。

図1-3-3 今後の就労意欲



# 議題1 高齢者にどのような支援が求められているか③

平成12年の介護保険制度の導入から約20年が経過し高齢者を取り巻く環境は様々な変化してきました。本市の高齢化率は令和3年度当初で25.8%であり、今後高齢化率は増加の一途を辿ることが見込まれています。これから行政にはどのような取り組みや支援が求められているのでしょうか。

表2-2-5 介護サービス利用者と介護給付費の推移

	利用者数												介護給付費											
	平成12年4月	平成15年4月	平成18年4月	平成21年4月	平成24年4月	平成25年4月	平成26年4月	平成27年4月	平成28年4月	平成29年4月	平成30年4月	平成31年4月	平成12年4月	平成15年4月	平成18年4月	平成21年4月	平成24年4月	平成25年4月	平成26年4月	平成27年4月	平成28年4月	平成29年4月	平成30年4月	平成31年4月
居宅（介護予防）サービス	97万人	201万人	255万人	278万人	328万人	348万人	366万人	382万人	390万人	381万人	366万人	378万人	618億円	1,825億円	2,144億円	2,655億円	3,240億円	3,538億円	3,736億円	3,795億円	3,626億円	3,670億円	3,651億円	3,811億円
地域密着型（介護予防）サービス	-	-	14万人	23万人	31万人	34万人	37万人	39万人	72万人	81万人	84万人	87万人	-	-	283億円	445億円	625億円	696億円	760億円	801億円	1,120億円	1,181億円	1,245億円	1,299億円
施設サービス	52万人	72万人	79万人	83万人	86万人	89万人	89万人	90万人	92万人	93万人	93万人	95万人	1,571億円	2,140億円	1,985億円	2,141億円	2,242億円	2,296億円	2,327億円	2,325億円	2,336億円	2,379億円	2,436億円	2,484億円
合計	149万人	274万人	348万人	384万人	445万人	471万人	493万人	512万人	523万人	554万人	543万人	559万人	2,190億円	3,965億円	4,411億円	5,241億円	6,107億円	6,530億円	6,823億円	6,921億円	7,082億円	7,230億円	7,332億円	7,594億円

資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」

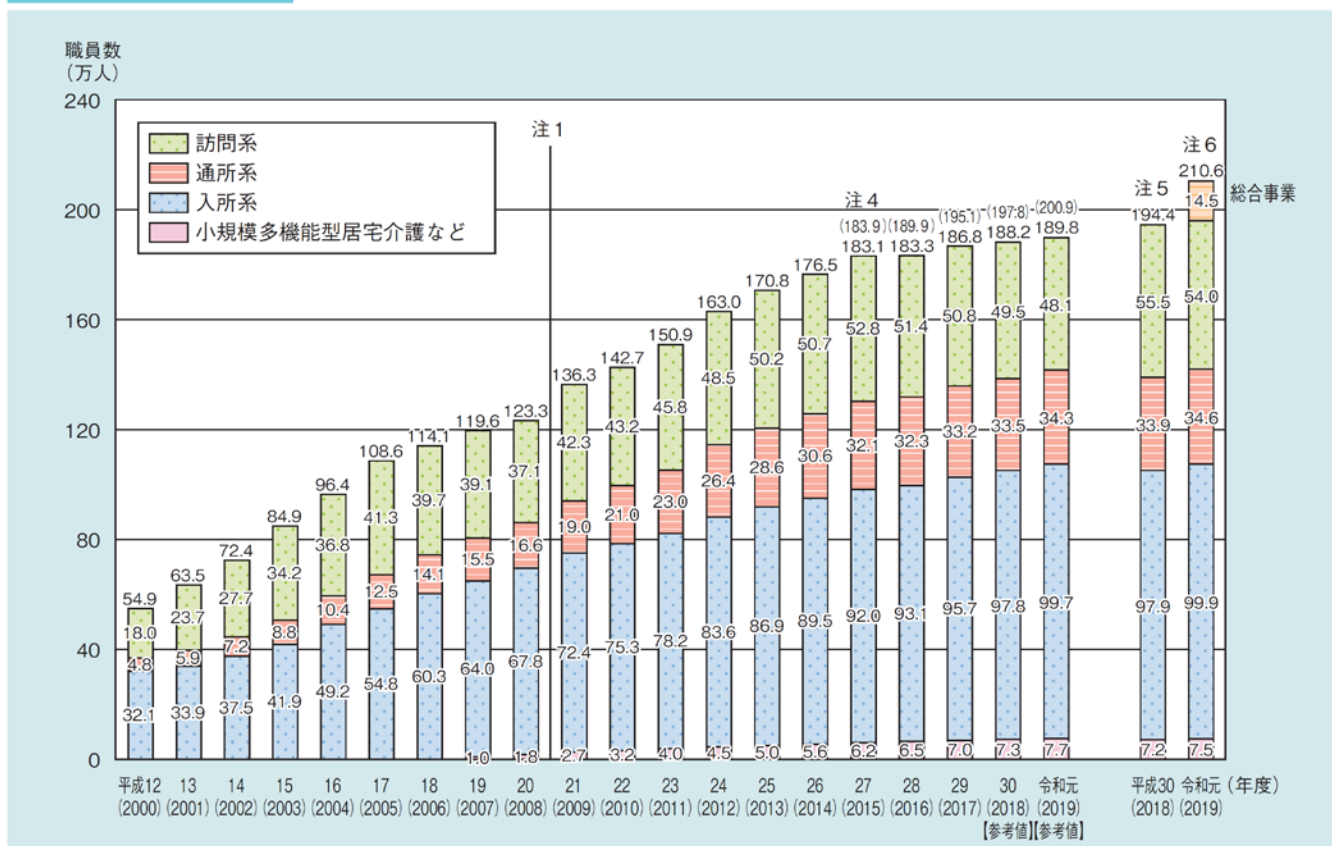
（注）端数処理の関係で、合計の数字と内訳数が一致しない場合がある。

地域密着型（介護予防）サービスは、平成17年の介護保険制度改正に伴って創設された。

# 議題1 高齢者にどのような支援が求められているか④

平成12年の介護保険制度の導入から約20年が経過し高齢者を取り巻く環境は様々な変化してきました。本市の高齢化率は令和3年度当初で25.8%であり、今後高齢化率は増加の一途を辿ることが見込まれています。これから行政にはどのような取り組みや支援が求められているでしょうか。

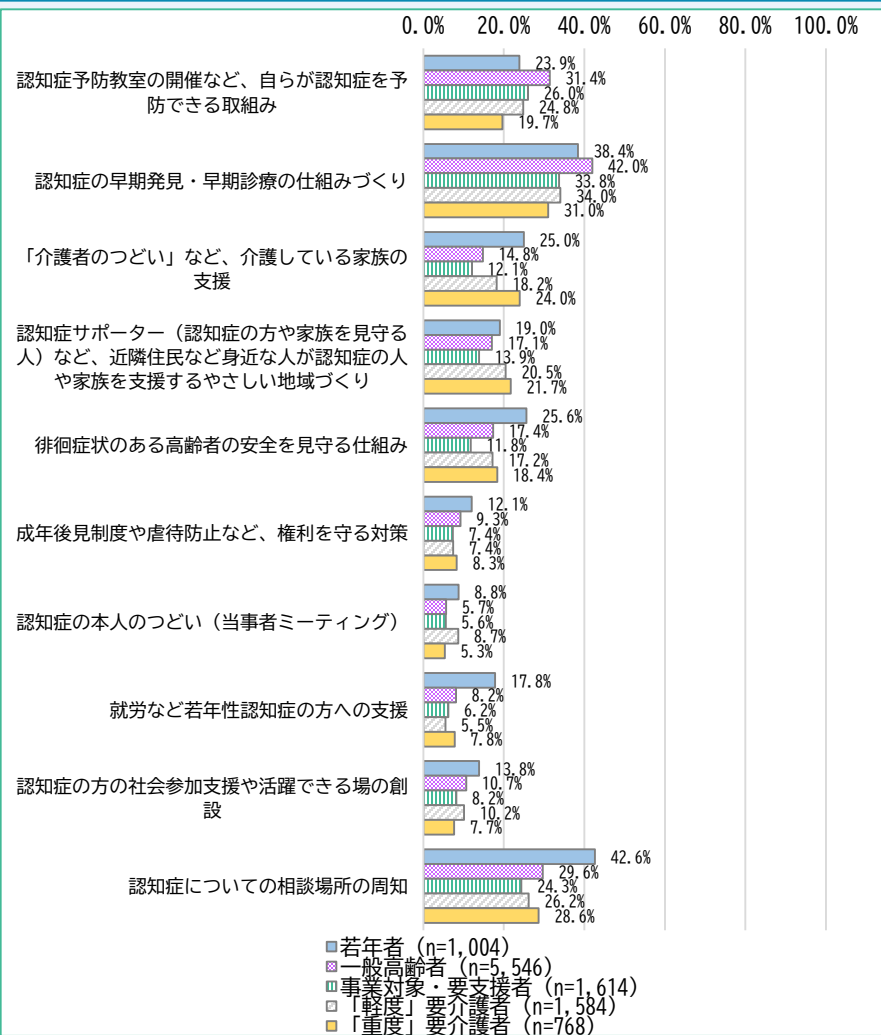
図1-2-2-17 介護職員数の推移



※出典：令和3年度版高齢者白書(内閣府)より抜粋

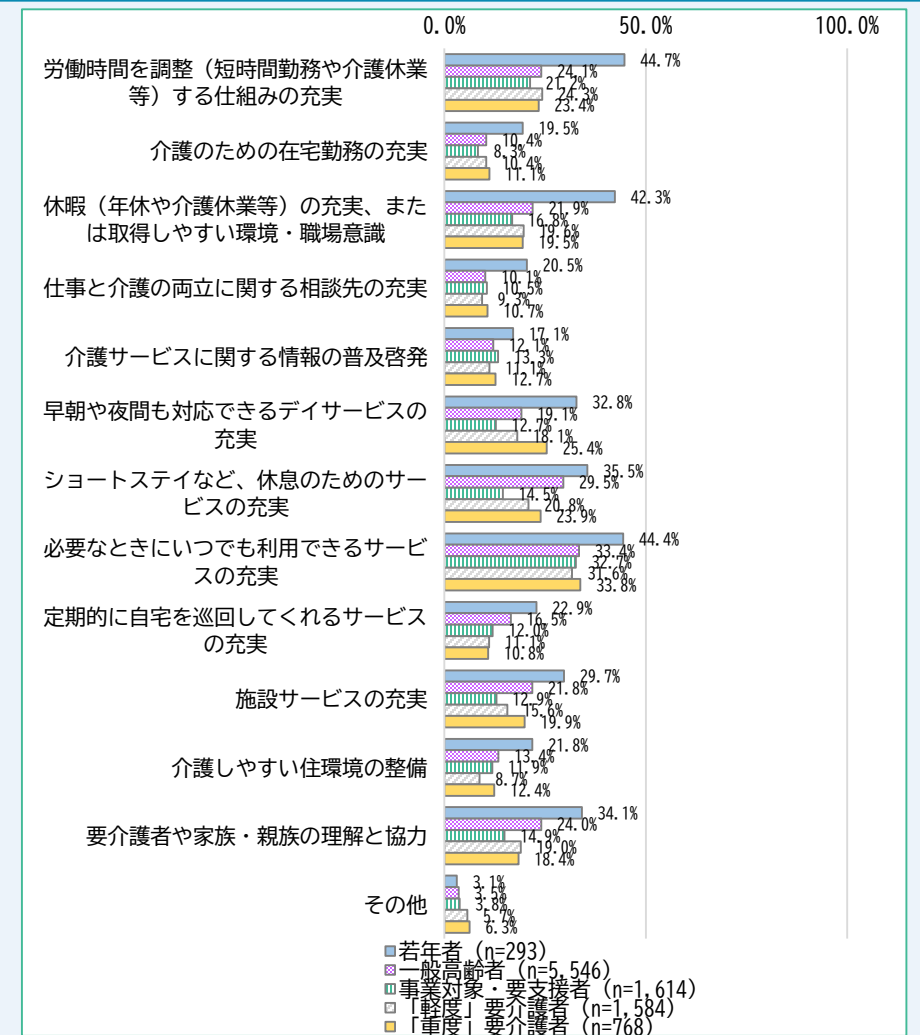
# 議題1 高齢者にどのような支援が求められているか⑤

問 より充実させたほうがいいと思う、松戸市が行う認知症対策はどれですか。（複数回答）



市民アンケート調査より  
調査期間：令和元年12月20日～令和2年1月17日

問 どのような支援があれば仕事と介護の両立ができると思いますか（複数回答） - 仕事と介護の両立のために希望する支援

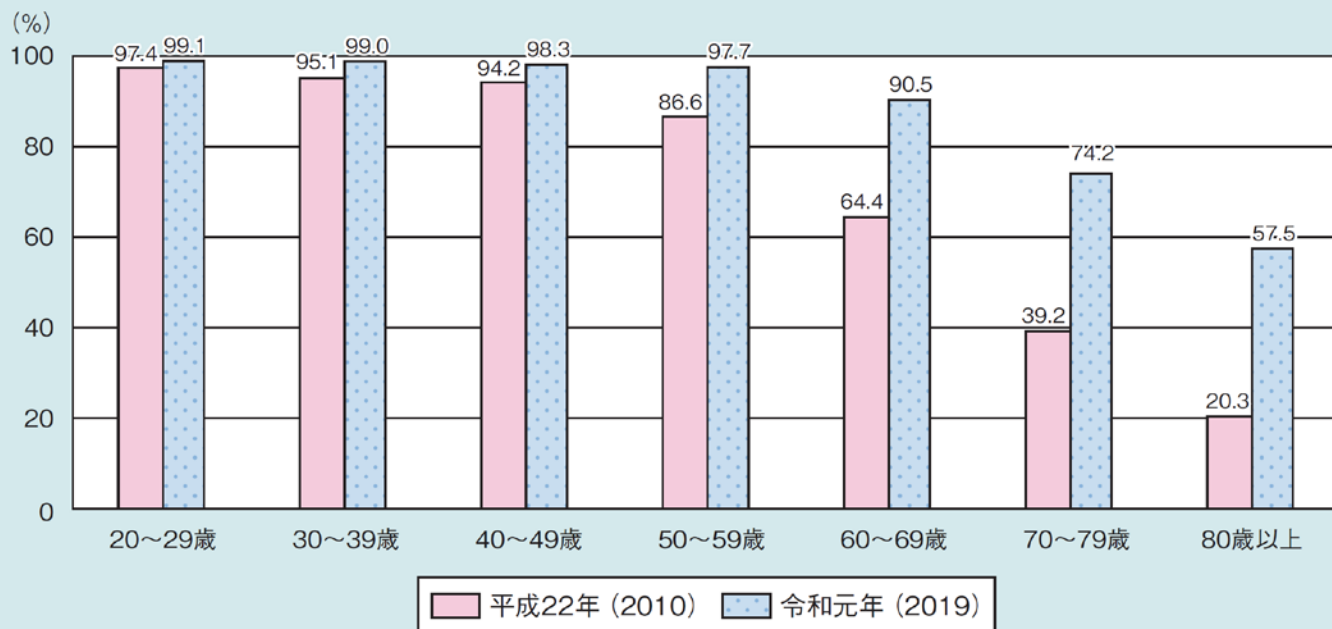


市民アンケート調査より  
調査期間：令和元年12月20日～令和2年1月17日

## 議題2 コロナ禍においてどのような活動を進めるべきか①

コロナ禍では人と人のふれあいが制限され、自由に活動することが難しくなっています。「withコロナ」時代の中でどのように活動を進めていくべきか。現状の取組みやこれからの展望についてお聞かせください。

図1-2-4 利用者の年齢階級別インターネット利用率



資料：総務省「通信利用動向調査」

(注1) 無回答を除く。

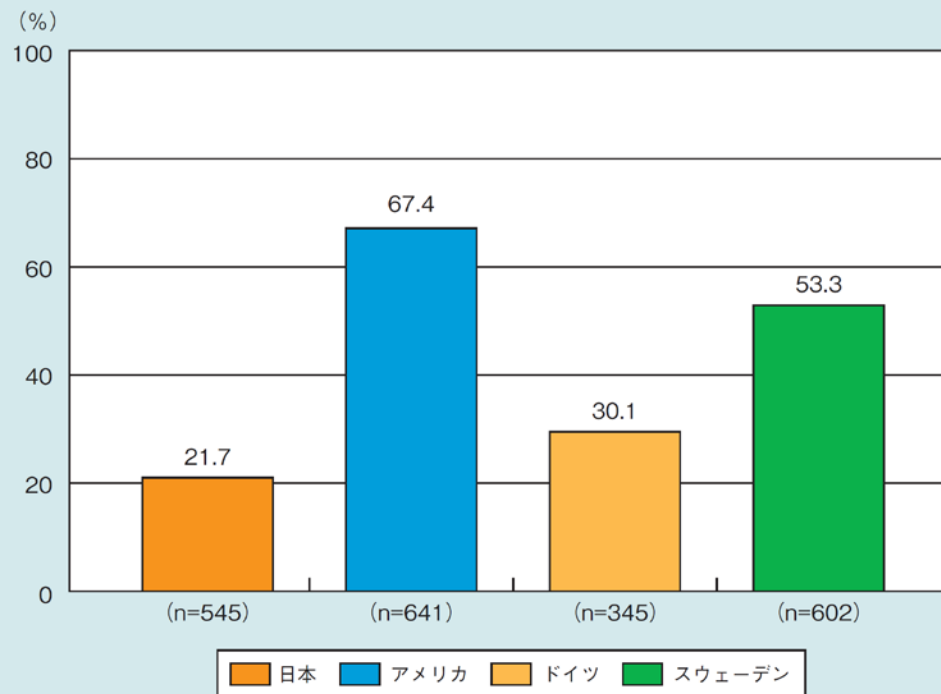
(注2) 令和元年は調査票設計が例年と異なることから、他の年と結果を比較する際には注意を要する。

## 議題2 コロナ禍においてどのような活動を進めるべきか②

コロナ禍では人と人のふれあいが制限され、自由に活動することが難しくなっています。「withコロナ」時代の中でどのように活動を進めていくべきか。現状の取組みやこれからの展望についてお聞かせください。

図1-3-4

ボランティア活動に参加している人が新型コロナウイルス感染症の拡大により「ボランティア活動をやめた（中止になった）」・「ボランティア活動をする日数や時間数が減った」と回答した割合（複数回答）

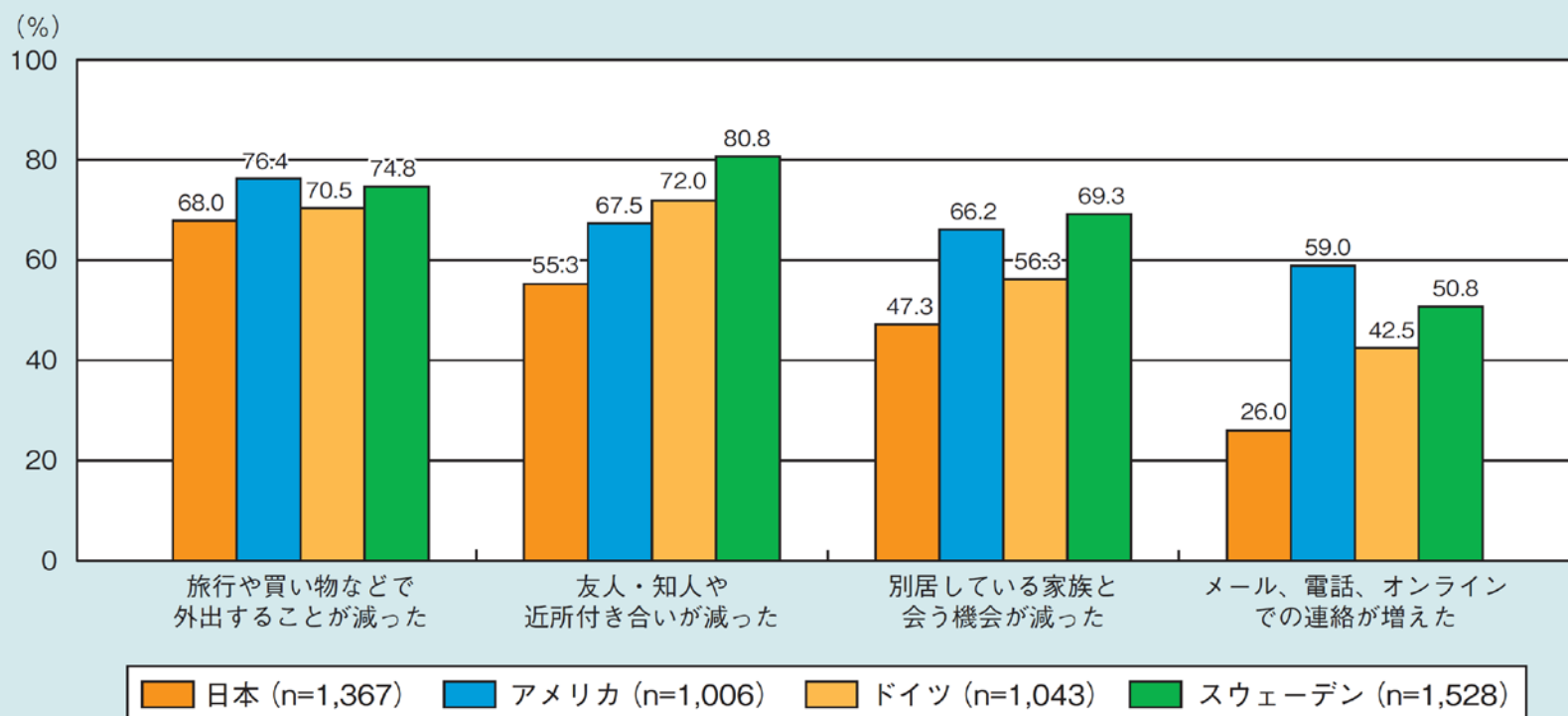




## 議題2 コロナ禍においてどのような活動を進めるべきか③

コロナ禍では人と人のふれあいが制限され、自由に活動することが難しくなっています。「withコロナ」時代の中でどのように活動を進めていくべきか。現状の取組みやこれからの展望についてお聞かせください。

図1-3-5 新型コロナウイルス感染症拡大による外出等への影響（複数回答）



## 議題2 コロナ禍においてどのような活動を進めるべきか④

コロナ禍では人と人のふれあいが制限され、自由に活動することが難しくなっています。「withコロナ」時代の中でどのように活動を進めていくべきか。現状の取組みやこれからの展望についてお聞かせください。

図1-3-12

収入の伴う仕事をしている人が新型コロナウイルス感染症の拡大により「仕事をする日数や時間数が減った」と回答した割合

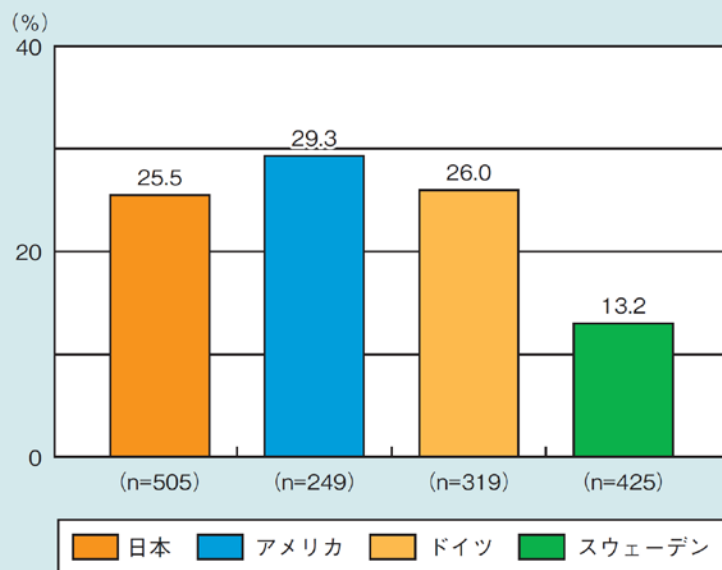
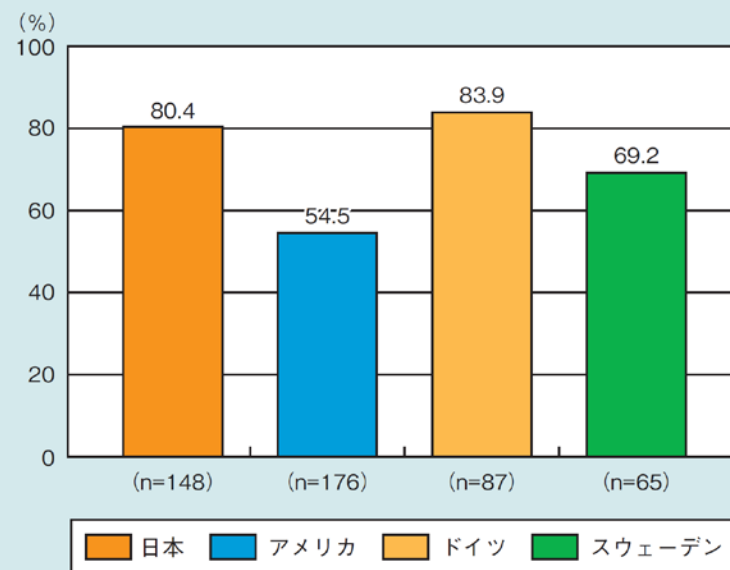


図1-3-13

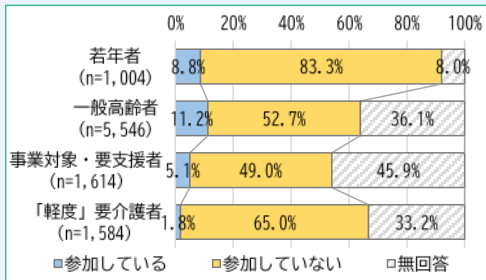
新型コロナウイルス感染症の拡大により仕事をする日数や時間数が減った人が「収入の伴う仕事をしたい(続けたい)」と回答した割合



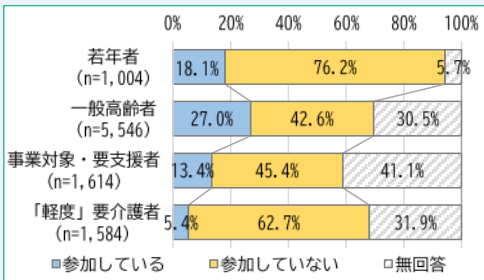
# 議題2 コロナ禍においてどのような活動を進めるべきか⑤

問 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(単一回答)

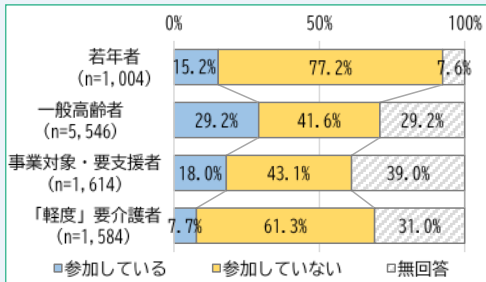
## ■ ボランティア



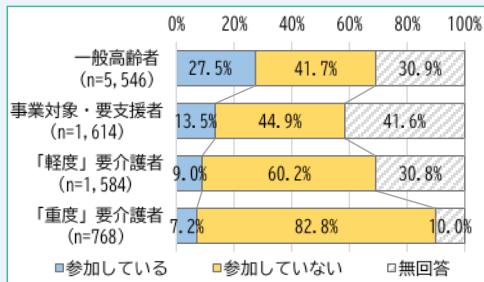
## ■ スポーツ関係のグループやクラブ



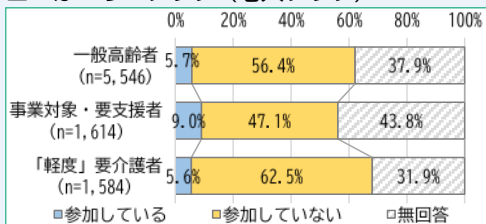
## ■ 趣味関係のグループ



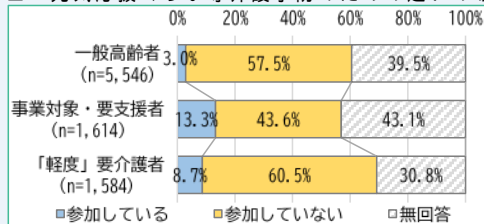
## ■ 町会・自治会



## ■ はつらつクラブ (老人クラブ)

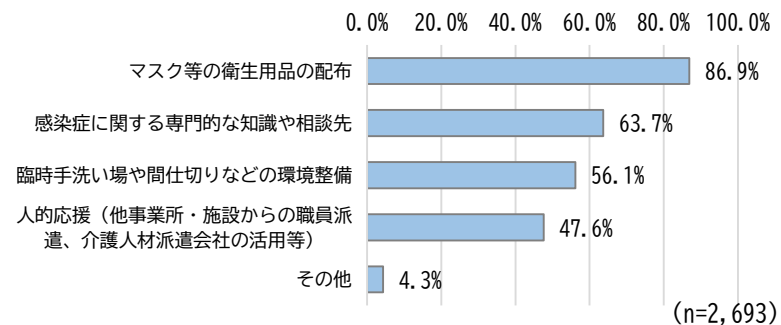


## ■ 元気応援くらぶ等介護予防のための通いの場



市民アンケート調査より  
調査期間：令和元年12月20日～令和2年1月17日

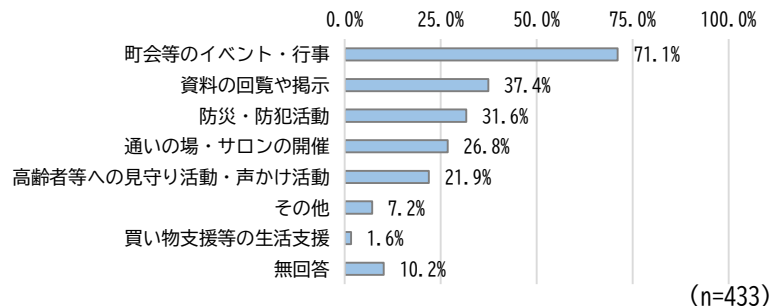
問 感染症発生時に必要な支援は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)



介護従事者調査 (従事者) より  
調査期間：令和2年6月23日～令和2年7月13日

問 昨今の新型コロナウイルス感染症の状況下においては、緊急事態宣言に伴う外出自粛がなされましたが、それに伴う町会等の状況を教えてください。

町会等の活動で、どんなことに困ったか、教えてください。(あてはまる番号すべてに○)



町会・自治会等調査より  
調査期間：令和2年6月23日～令和2年7月13日